

2023年度 JATEセミナー開催模様

2023年11月29日（水曜日）、主婦会館プラザエフ（千代田区）の会場とオンラインを併用したハイブリッド形式により、JATE セミナーを開催致しました。

JATE セミナーは、賛助会員の皆様に向けて、情報通信政策あるいは情報通信技術に関する最新の情報をお届けするため、平成20年度から行っております。

行政と研究開発、それぞれの分野からお一人ずつ講師をお迎えし、最新の取組を含めた貴重なお話を伺うことができました。

総務省 総合通信基盤局 電気通信技術システム課長 五十嵐大和様によるご講演「情報通信インフラ分野の政策動向」では、仮想化技術等の進展を踏まえた技術基準等の在り方、ベストエフォート型サービスの事故基準、MVNOに対する電話番号の指定、非常時における事業者間ローミングの実現に向けた取組、端末設備の技術基準に関する動向といった最新のトピックスをご紹介いただきました。



総務省 総合通信基盤局
電気通信技術システム課長 五十嵐大和様

ご講演後に実施した参加者の皆様からのアンケートでは、

- ・幅広い観点の説明でよかった
- ・システム分野の動向がわかりやすく解説されていた
- ・普段聞くことのできないお話を聞くことができた
- ・総務省の考え方等について理解度が深まった
- ・事業者間ローミングの現状は大変参考になった
- ・非常時における事業者間のローミングは是非実現するよう推進してほしい等、多くのご意見・ご感想が寄せられました。

続いて、

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT） 量子ICT協創センター 研究センター長 藤原幹生様によるご講演「量子技術が拓く安全な情報通信社会」では、将来どのようなコンピュータが開発されても解読の恐れのない通信とデータ保管を可能とする量子暗号と量子セキュアクラウドの現状、NICTが運用し

ている Tokyo QKD Network を利用した POC の事例、社会実装に向けた課題などについてご紹介いただきました。

ご講演後に実施した皆様からのアンケートでは、

- ・少々難しいところもあったが用途も含め最新の動向を説明頂き参考になった
 - ・最新の量子技術分野における未来像と現状を知ることができて非常に興味深かった
 - ・量子を使うと並行処理が飛躍的に増加することを初めて知った
 - ・将来への期待値が強く感じられた
 - ・難しかったが、次の暗号化技術についてリスクと将来性が把握でき良かった
 - ・この技術を使っても通信負荷が膨大にならない点は、よいと思った
- 等、多くのご意見・ご感想をいただきました。



国立研究開発法人情報通信研究機構
量子 ICT 協創センター 研究センター長
藤原幹生様

当協会では、賛助会員の皆様から頂いたご意見・ご感想を参考にさせていただき、今後のセミナー開催に反映させてまいる所存です。

なお、賛助会員の皆様には、[賛助会員専用ページ](#)にて講演資料をご覧いただけます。